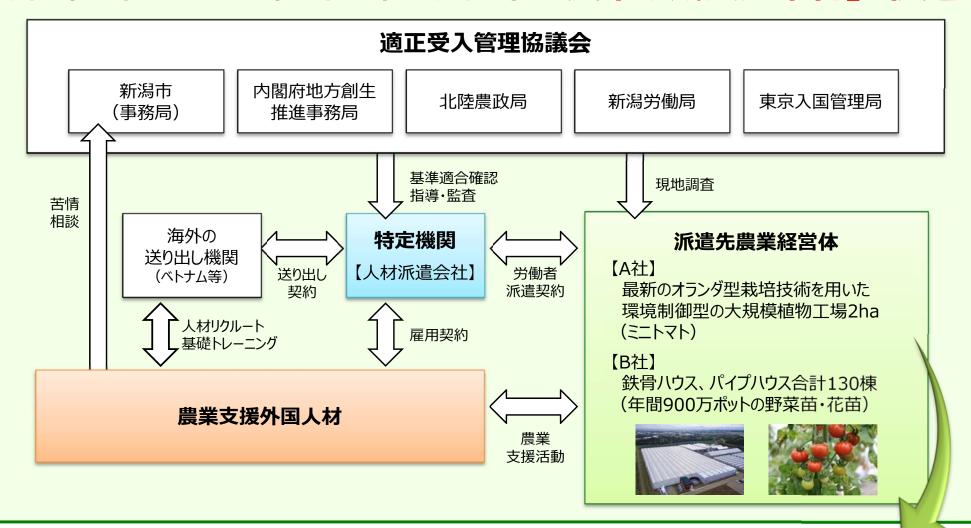


第9回 新潟市国家戦略特別区域会議 新潟市提出資料

新潟市長 篠田 昭 平成 30年 3月 8日

経営規模の拡大に必要な人材確保をサポート「農業の成長産業化」を促進!



「担い手不足への対応」と「生産性の向上」を 同時に実現!

新たな選択肢「農業の大規模経営化」が 新潟農業の可能性を拡大!

新潟市革新的農業実践特区「強い農業」を実現!

1ステージ 革新的農業の実践&成果!

拡大

高付加

価値化

生産力 強化!

ケール

ジャパン

【特例農業法人の設立】

- ■全国初の特例農業法人9社が農業参入
- ■ローソンファーム新潟が、 ローソン4,000店舗超でおにぎりを販売
- ■NKファーム新潟が、香港、シンガポール、 モンゴルなどに**コメ輸出**
- ■JR新潟ファームが、地元酒蔵と連携して 日本酒「しゅぽっぽ」を商品化&販売
- ■たくみファームが、平昌五輪に出場する フィギアスケート選手団に**G-GAPを取得**した ミニトマトを提供
- ■企業参入により耕作放棄地を4.3ha再生



ローソンおにぎり



1Rしゅぽっぽ



ミニトマト提供



mass moss

【農業委員会との事務分担】

- ■農地法第3条関係(権利設定・移転)に係る 事務を新潟市が分担
- ■処理期間を<mark>最短3日</mark>に短縮し企業参入を支援
- ■H28年度 申請件数237件
- ■H28年度 活用された農地面積87ha



6次 産業化

拡大!

地方

【農家レストランの設置】

- ■全国初の農家レストラン3店舗オープン
- ■H28年度 来客数87,000人
- H28年度 雇用創出**22人**
- ■H28年度 売上高1億2,000万円



全国展開による →波及効果 **683億円!!** 農村地域への →雇用創出 **12,000人!!**

(※農地を有する約1700の自治体に1店舗オープンした場合)

【企業と連携したアグリプロジェクト】

■大手企業や農業ベンチャーと ICTを活用した様々な実証実験を実施



水田センサ

◆革新的稲作営農管理 システム実証実験



ドローン リモートセンシング

- ◆稲の植生分析実証実験
- ◆松くい虫被害木の 分析・予防実証実験



ICTコンバイン

◆可変施肥田植機 実証実験



全国の農村地域のモデルとなる革新的で「強い農業」を着実に実現!

新潟市革新的農業実践特区 セカンドステージへ突入!

2ステージ これまでの実績&成果を土台に更なるステップアップ!

【農業支援外国人材の活用】

今回提案

人材派遣による農業分野への外国人材就労を促進

- ■農業の成長産業化に必要な人材確保をサポート!
- ■人手不足に悩む農業現場の課題解決!
- ■経営規模の拡大により「強い農業」を実現!

日本農業の知識・技術を有する 即戦力外国人材の育成&確保スキーム 新規 運用提案

大学と専門学校が連携して日本農業を習得させ、 即戦力で活躍できる外国人材を 育成 & 計画的に確保!

■農業系大学監修の下、専門学校での1年制の特別課程の 追加及び独自の適性試験を実施。合格者には、農業支援 外国人材として在留資格を付与。

企業の農地取得(新潟市 ver.)

新規提案

農地所有適格法人における議決権(出資比率)を緩和し、企業の農業参入を加速!

■現在、農地を所有できる法人(農地所有適格法人)への企業の出資比率は、1/2未満に制限されているが、 新潟市独自のスキームにより継続的かつ安定的な農業経営を担保したうえで、企業の出資比率を過半まで引き上げ。

新潟市農地効率的利用促進審査会 (条例設置による有識者会議)

審査クリア

- ・企業による投資の拡大を可能!
- ・企業が経営権を持つ農地所有適格法人による農地取得が可能!

【農業版サンドボックス制度の活用】

今後活用

レギュラトリー・サンドボックス制度を活用し、農業分野で農機の自動運転やドローンの飛行条件を 緩和した複数の実証実験を実施

- ■革新的技術を有する大手企業や農業ベンチャーと実践を進めているアグリプロジェクトを加速&深化!
- ■省力化・効率化・精密化に向けて革新的農業を実践!

国家戦略特区をフル活用し、全国展開のモデルに!

農業分野 以外

クールジャパン・インバウンド外国専門人材の活用

今後活用

2ステージ

+a

多様な分野におけるクールジャパン人材の活用

【クールジャパン・インバウンド外国専門人材の活用】

「技術・人文知識・国際業務」「技能」の在留資格の下で外国専門人材を受け入れ

■<mark>理美容・アニメ・ホテルなど</mark>の分野で専門学校を修了する留学生の就労実現に向けて、学校での知識・技能の習得に加え、外国人材が日本のビジネス現場で即戦力として活躍でき、在留資格に相当し得る資格・技術要件を検討

▶理美容分野

しっかりとしたスキル、コミュニケーション能力、ビジネス知識を有する外国人スタッフは、外国人のお客様への対応も含めてニーズがある

<在留資格に相当する代替基準案>

厚労省養成施設卒業 & 国家資格取得

専修学校等で600時間以上の特別課程を修了 (技術実技、接客接遇、企業内実習 等々)

日本ビジネスの知識・技能に関する検定を取得

他にも、アニメ・マンガ分野や観光・ホテル分野など、 優秀な外国専門人材に対する受入企業の期待は高い!

